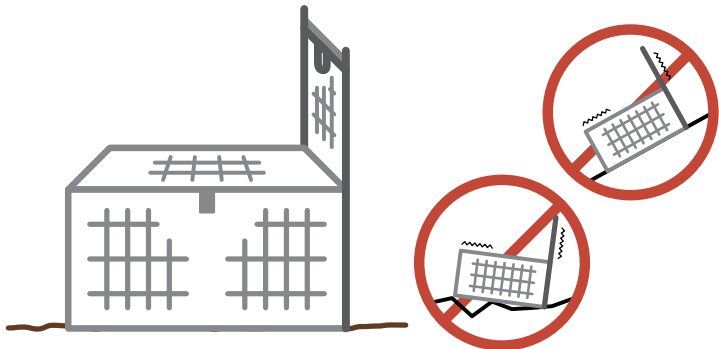


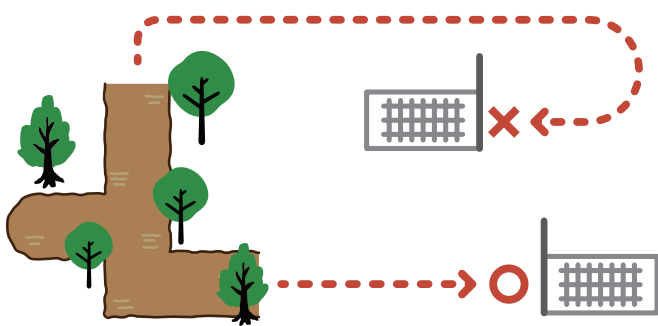
平坦な場所に設置すべし！

斜面や凹凸のある地面に設置すると、箱罾が傾き上手く作動しない可能性があります。不安定な足場では獣が警戒心を抱き箱罾に入りにくくなります。



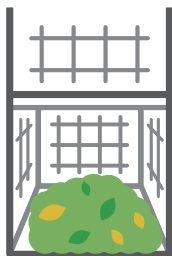
扉の向きに注意すべし！

扉の向きは獣道から誘引しやすい向きに設置します。回り込めると箱罾への誘引が難しくなります。



底面は隠すべし！

底面を葉や土で隠すことで、警戒心を薄めます。自然界に異質な鉄の塊はいかに違和感を与えないかが重要です。また、底面にコンパネを敷くことで獣が滑って暴れにくくなり箱罾が壊されるのを防ぎます。



まずは放置

箱罾を設置したら、扉を解放し、1～2週間は餌を入れずに置いておきます。扉は解放したまま閉じないようにしてください。箱罾を自然の中に馴染ませます。

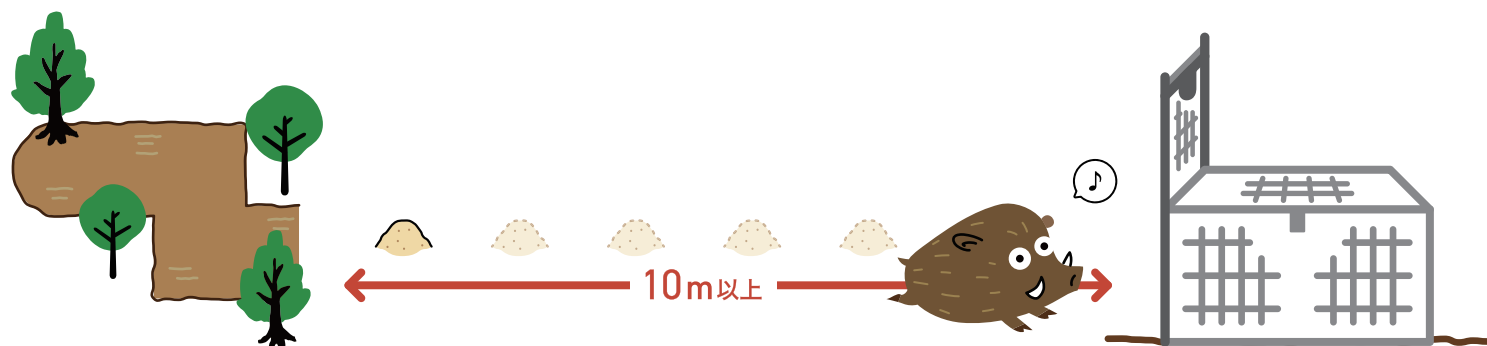


慣らし期間を設定すべし！

餌付けを続けながら時間をかけて警戒心を解くための「慣らし期間」を設けます。箱罾を中心にやや広範囲に餌を撒きます。安全な餌場として獣に認識させます。

箱罾から離れた餌を継続的に食いつくようになったら徐々に離れた位置の餌を減らし箱罾内部へ誘導します。

箱罾の入り口すぐ近くまで食べるようになったら、トリガーを作動可能な状態にして、捕獲できる状態にします。



餌の撒き方

撒き餌は安価で手に入れやすい米ヌカを使用するのが一般的です。

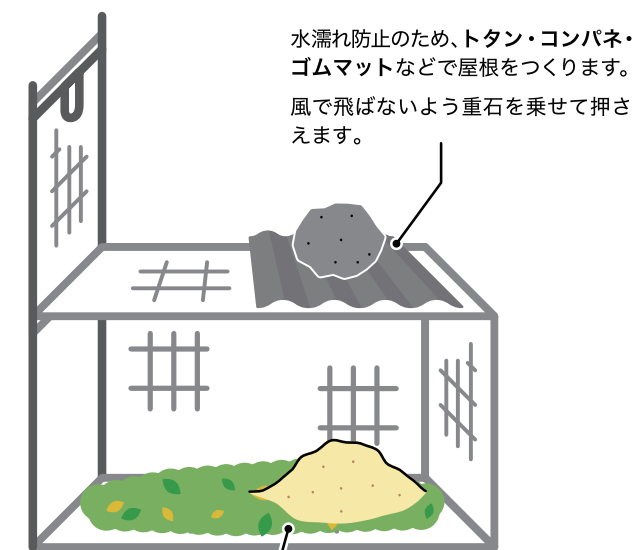
米ヌカはカビが繁殖しやすいため、水に濡れないよう工夫が必要です。また、こまめに餌を取り替えましょう。

成獣でも約600cc程食べると満足してしまうので撒き餌の量にも注意が必要です。

餌の種類

■米ヌカ ■古米 ■くず米 ■イモ類 ■野菜 ■果物

米ヌカは塩を混ぜ発酵させるとより効果的です。水田のない地域では米ヌカは効果が薄いため、箱罾を設置した近くにある美味しい野菜や果物が効果的です。



水濡れ防止のため、底面に防災シートを敷き葉や土で隠します。



その他アイテムの活用

くくり罾やカメラの活用



トレイルカメラを用いて、イノシシやシカの出没状況を把握し撒き餌の方法に工夫を加えることができます。また、くくり罾で小動物が箱罾を作動させてしまうことを防ぎ、警戒心の高いイノシシをくくり罾でします。

トレイルカメラの活用

掲載ページ p.39~45



箱罾を設置したら、ターゲットとなる動物が来ているか、餌を食べているかを確認するため罾周辺を観察します。

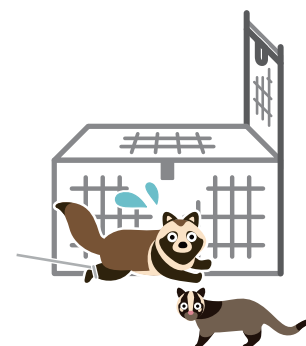
足跡がつきにくい固い地面の場合は、特にカメラの活用がおすすめです。

トレイルカメラは獣の目線より高い位置に設置すると有効です。

盗難対策のためカメラ設置後はカモフラージュが必要です。

くくり罾の活用

掲載ページ p.20~37



箱罾設置後、撒き餌をする
と警戒心の薄い小動物が
はじめに誘引されます。
ターゲットとなるイノシ
シやシカを箱罾で捕獲す
るため、箱罾周辺にくり
罾を設置し小動物を捕獲
します。

警戒心の高い獣はなかなか箱罾の中に入らず、箱罾を
周回し様子を伺います。そこで、くくり罾で周回する獣
を捕獲します。

